

2018 年度環境レポート



yamato

大和電機工業株式会社



信頼 信用

当社は、お客様及び社会から“信頼・信用を得る”ことを経営理念の根幹として、顧客満足の上を図り、環境に配慮した事業活動を推進する事で地球環境の保全と地域社会との共存を目指して活動を進めております。

これまでお客様を含めた多くのお取引先様や地域社会の皆様からお支え戴いて今日まで企業運営を継続する事が出来ました。これからも皆様から愛され、必要とされる企業を目指し、信頼・信用を戴けるパートナーとして認められるよう貢献していきたいと考えております。

そのためには、顕在・潜在する課題を、ものづくり技術をベースに解決し、法規制やお客様などからの要求事項を順守する中で、社員一人ひとりがムリ・ムラ・ムダな作業はないか、環境負荷を与えている活動はないか等を検証し、速やかに改善策を具体化し、具現化していく中でお客様や社会が求める以上の結果を出して、信頼と信頼を得られるように全社員一丸となって改善活動を推進し、持続可能で安心・安全な社会づくりへの貢献を目指して活動してまいります。

地球環境保全

私たちはこれまでも、地域の環境保護活動や環境管理活動を通じて環境保全活動に積極的に取り組みしてまいりました。2018年度は2017年度に策定された2019年度までの中長期計画の環境目標の達成活動を通じて、省エネ活動や廃棄物削減に取り組みし、その結果として温暖化防止に努めてまいりました。当社の環境側面に関して適用される法的要求事項やお客様からの要求事項を順守し、業務に関するリスクを具体的にし、環境負荷低減目標を具現化するために技術的・経済的に可能な範囲で継続的に環境に配慮した改善活動を推進して、汚染の予防と危機管理・安全管理に努め、結果として生物多様性保全に向けた取り組みを行います。

この活動の結果は、環境レポートとしてホームページに掲載して公表します。

大和電機工業株式会社
代表取締役社長 原 房利

対象組織

この環境レポートは、大和電機工業株式会社の 4 サイト全体を対象としています。

本社サイト……………長野県諏訪郡下諏訪町東四王 5197 番地
諏訪サイト……………長野県諏訪市中洲 4750 番地
松本サイト……………長野県松本市今井 7066 の 3 番地
下諏訪サイト……………長野県諏訪郡下諏訪町北四王 5183 番地

対象期間

2018 年度(2018 年 4 月 1 日から 2019 年 3 月 31 日)の環境に関する取り組みや成果を記載しています。

発行情報

発行日 2019 年 6 月 (前回発行 2018 年 5 月)

編集方針

このレポートは、持続可能な社会の実現に貢献するために当社が取り組む姿勢・活動を、さまざまなステークホルダーの方々にわかりやすくご理解いただくことを目的に発行しています。

このレポートは Web で効果的な情報提供を目指しています。

インターネット URL <http://www.yamato-elec.co.jp>

データの集計範囲

この環境レポートは、大和電機工業株式会社の 4 サイト全体のエネルギー使用量、廃棄物排出量等の実績等の環境負荷低減活動結果を対象としています。

参考にしたガイドライン

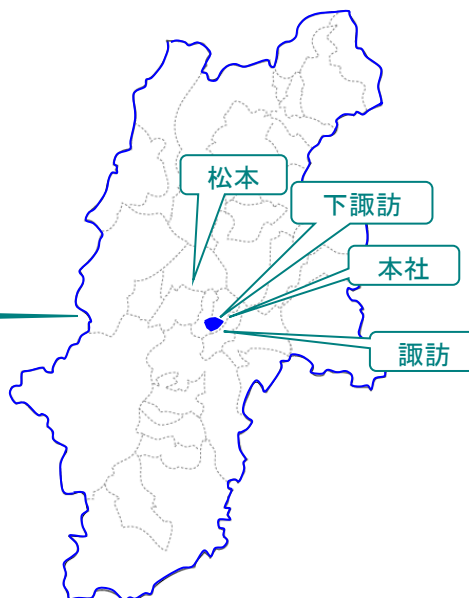
環境省「環境報告ガイドライン 2018 年版」

会社概要

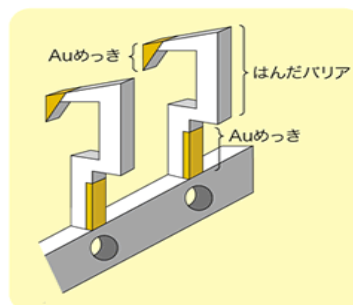
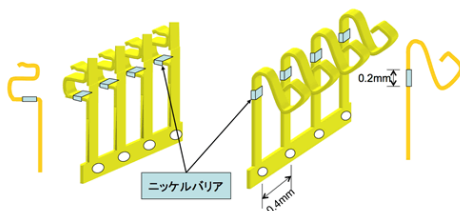
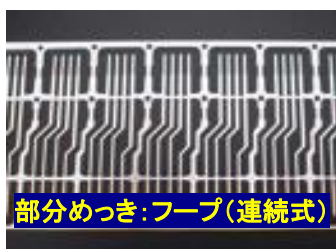
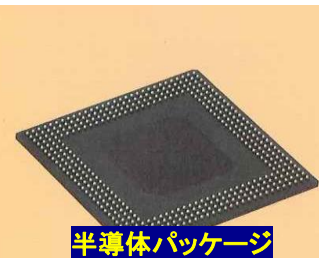
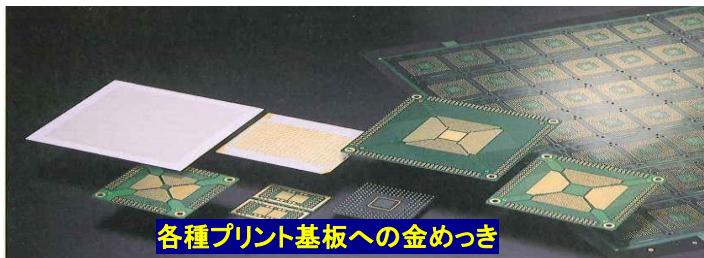
会社名	大和電機工業株式会社
本社所在地	〒393-0043 長野県諏訪郡下諏訪町東四王 5197 番地
会社創立	1944 年 4 月 27 日
資本金	9000 万円
事業内容	電子部品・電子基板・電子材料への機能めっき加工 クリーン環境での電子部品検査 F A 省力化設備の設計及び製造 機械加工機による加工部品製造販売

事業所所在地

諏訪事業所	〒392-0015	長野県諏訪市中洲 4750 番地
松本事業所	〒390-1131	長野県松本市今井 7066 の 3 番地
下諏訪事業所	〒393-0042	長野県諏訪郡下諏訪町北四王 5183 番地
工機事業部	〒393-0043	長野県諏訪郡下諏訪町東四王 5451 番地



主な取扱い製品



微細コネクタ用金めっき

法令順守

当社は CSR を基本として、「社会から信頼・信用される企業」を目指して、事業に関する法的要求事項やお客様を含めたステークホルダーからの要求事項を把握し、ISO14001 の環境マネジメントシステムを運用して順守しています。

当社に適用される法的要求事項等の各種届出や報告は適切に実施しており、その順守状況は、年 1 回の順守義務の定期評価で確認しており、重大な不順守事項は発生していません。

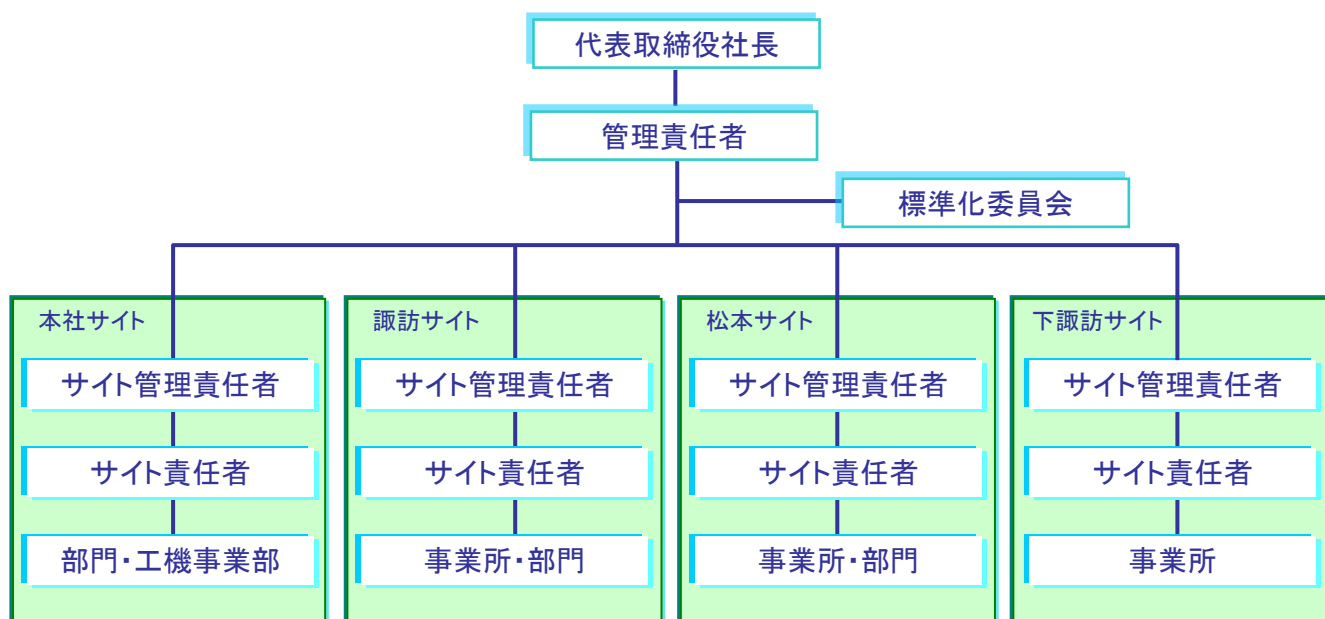


環境配慮経営

当社は環境保全を最重要事項の一つと位置付け、環境管理活動を通じて社会、お客様に貢献し、地球環境の保全への寄与を基本に経営に取り組んでいます。

環境管理推進組織

当社は管理責任者の下に 4 つのサイトで環境管理活動を行い、環境改善に取り組んでいます。



環境活動報告 2018 年度

当社は 2000 年に ISO14001 の環境マネジメントシステムを構築以来、法令・規制、顧客や地域社会、加盟団体等からの要求事項を順守し、環境管理活動を継続して実行しています。

環境管理活動の実績(KPI)

2018 年度は、2017 年度に策定された 2019 年度までの中長期計画(3ヵ年)の環境目標を設定して取り組みしてきました。活動の結果、腐食性廃酸の排出において、個別サイトでの目標未達成の影響を受け全社で目標を達成することができませんでした。

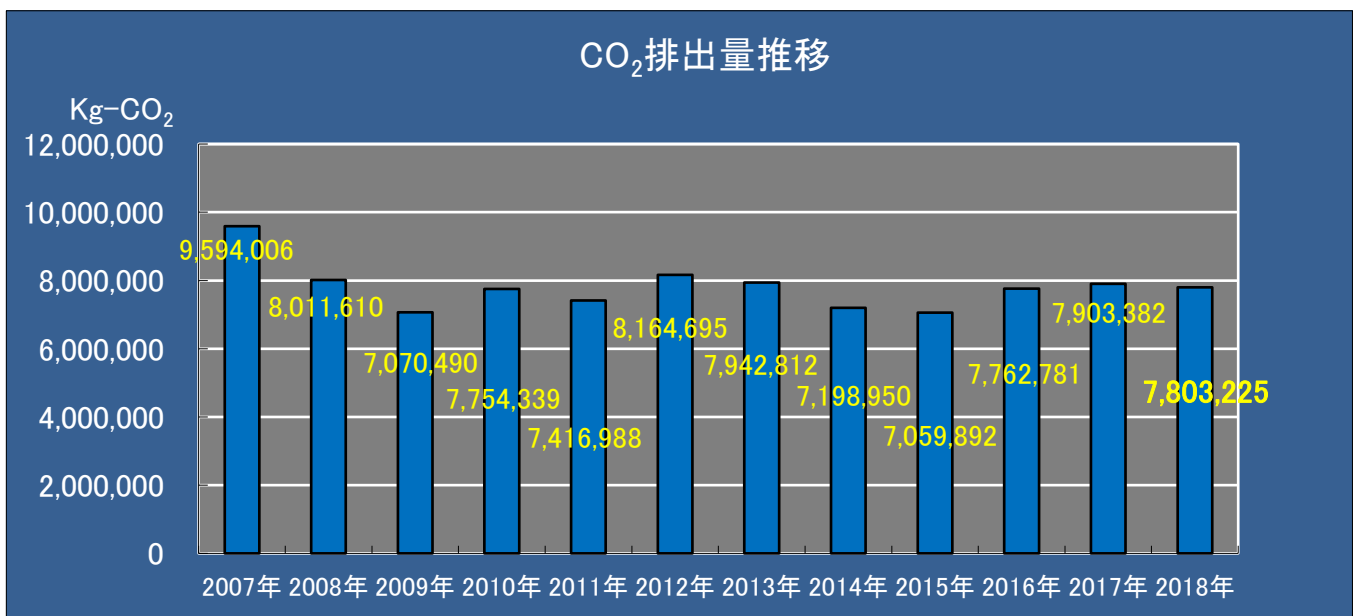
2019 年度も全項目の目標達成に向けて活動を展開していきます。

環境側面	2018 年度目標	2018 年度実績	達成状況	2019 年度目標
電気の使用	516.48	447.72	○	507.48
重油の消費	64.40	63.58	○	63.28
都市ガスの消費	66.35	63.06	○	65.19
腐食性廃酸の排出(特管)	6.71	7.80	×	4.98

※KPI ——— 使用量 ÷ 稼働時間



CO₂ 排出量推移



2018 年度エネルギー使用量実績

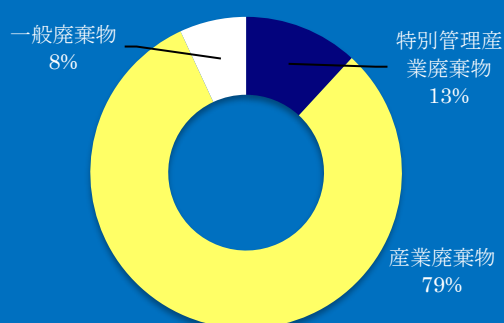
エネルギーの種類	単位	2018 年度使用量	2017 年度使用量	使用量差
電気	kWh	10,595,593	10,980,293	-384,700
都市ガス	m ³	514,212	545,226	-31,014
重油	L	513,307	503,880	9427
揮発油(ガソリン)	L	656	640	16
軽油	L	20,684	19,256	1428
灯油	L	4,509	6,010	-1,501
液化石油ガス(LPG)	Kg	5,302	6,060	-758

		原 単 位(稼働時間)		
エネルギーの種類	単位	2018 年度使用量	2017 年度使用量	使用量差
電気	kWh	445,847.70	452,002.49	-15,836.13
都市ガス	m ³	21,637.32	22,444.16	-1,276.68
A重油	L	21,599.24	20,742.16	388.06
揮発油(ガソリン)	L	27.60	26.35	0.65
軽油	L	868.83	792.66	57.31
灯油	L	189.74	247.39	-61.77
液化石油ガス(LPG)	Kg	223.12	249.45	-31.18

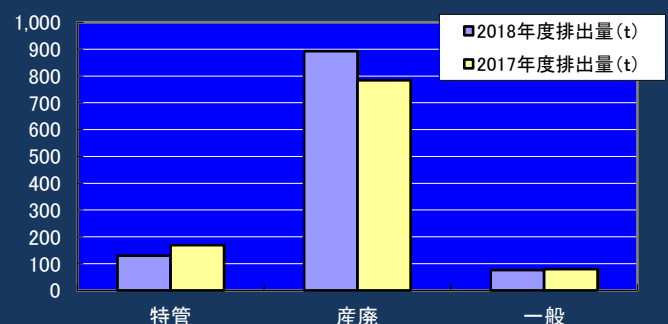
2018 年度 廃棄物排出実績

廃棄物区分	2018 年度排出量(Kg)	2017 年度排出量(Kg)	差(Kg)
特別管理産業廃棄物	130,204	168,575	-38,371
産業廃棄物	892,503	784,086	108,417
一般廃棄物	76,006	79,064	-3,058
総排出量	1,098,713	1,031,725	66,988

廃棄物排出内訳



廃棄物排出量前年比較



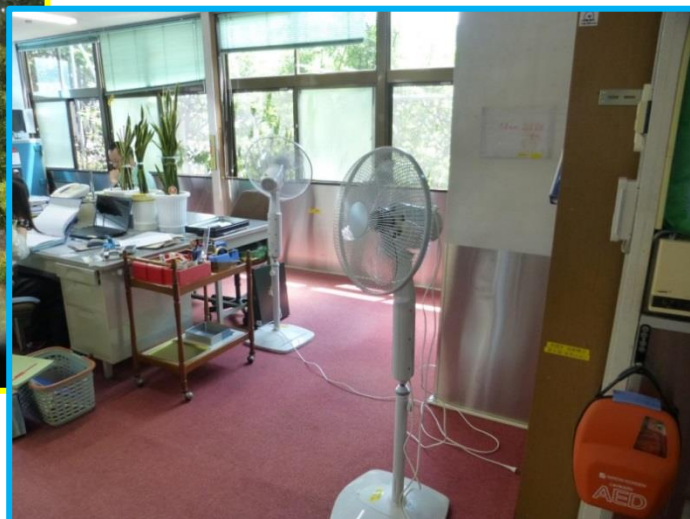
主なエネルギー資源の使用量の削減活動

当社では、サイト毎に環境実行計画書を作成し、電気、重油、都市ガス使用量削減に取り組んでいます。

LED照明



夏季節電対策



主な産業廃棄物の排出削減

当社では、循環型社会形成の推進のために3R(Reduce、Reuse、Recycle)活動を展開し、廃棄物の削減や資源の有効利用に取り組んでいます。

主な活動としては、使用薬品の長寿命化による腐食性廃酸の削減、適正分別・リサイクル化の推進による廃プラスチック類、金属屑の削減に取り組んでまいりました。

生物多様性の保全

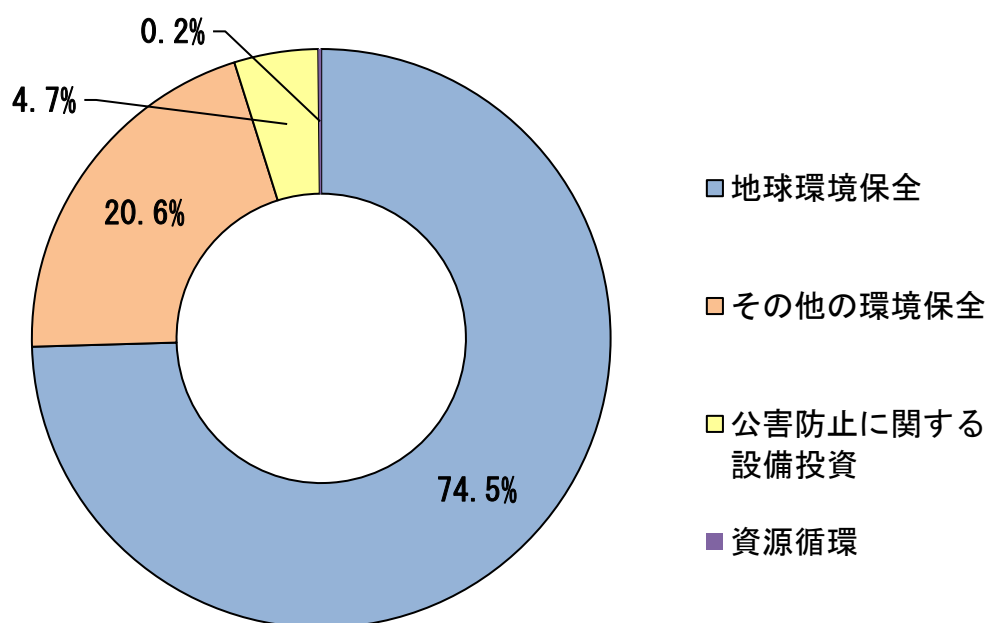
当社は環境保全のための取組みとして 2002 年から 2006 年まで毎年諏訪湖の外来魚対策の協力金を寄付し、ブラックバスやブルーギルの駆除費に活用していただきました。現在は、このような助成は行っておりませんが、環境管理活動の結果として二酸化炭素等の温室効果ガスの排出削減に努めて生物多様性の保全に努めてまいります。

環境への投資

当社は環境保全及び環境改善のための投資を行い、環境負荷の低減に努めています。

環境投資項目	投資金額(千円)	投資割合
地球環境保全	103,793,940	74.5%
その他の環境保全	28,689,388	20.6%
公害防止に関する設備投資	6,529,240	4.7%
資源循環	230,094	0.2%
合計	139,242,662	

2018年度 環境投資金額 内訳



地域社会への貢献

当社は会社敷地内の植栽及び地域貢献として諏訪湖湖岸清掃、工業団地清掃、県道清掃への参加、使用済みインクカートリッジを回収し小学校への寄付などを行なっています。また、高等学校等でのめっき技術講習会などの講師として地域に貢献しています。



化学物質の管理

化学物質の管理は法規制及びお客様から種々な要求事項があります。当社は、これらの要求事項に対応するために購入する化学物質を管理し、適正な使用を行なっています。

「化学物質排出把握管理促進法」に基づき排出量の集計データを適切に報告しています。また、お客様から製品含有化学物質情報要求がある場合は、「chemSHERPA」(ケムシェルパ)の情報伝達スキームを活用しております。

表面処理皮膜の管理においては、その皮膜表面の状態はもちろん、薬品の成分、工程環境測定、廃液管理など高度な化学分析及び科学的な解析が必要です。当社ではこれらに用いる各種分析・解析機器を所有し正確、且つ敏速な分析・解析管理を行っています。

当社所有の主な分析・解析装置		
解 析 ・ 測 定	集束イオンビーム断面加工観察装置(FIB)	日立ハイテクサイエンス製 SMI3050
	走査型電子顕微鏡(SEM)	日本電子製 JSM-6610LV
	エネルギー分散型X線分析装置(EDS)	オックスフォード社製 X-Max20(EDS)
	* SEMに付属	
	電界放射型走査電子顕微鏡(FE-SEM)	日立ハイテクノロジーズ製 SU-70
	エネルギー分散型X線分析装置(EDS)	オックスフォード社製 X-act
	* FE-SEMに付属	
	イオンミリング装置	日立ハイテクノロジーズ製 E-3500
	リフローシミュレーター	マルコム社製 SRS-1C
	フーリエ変換型赤外分光光度計(FT-IR)	VARIAN製 3100-600UMA
	蛍光X線装置	日立ハイテクサイエンス製 SEA5120
	セミオートワイヤーボンディング装置	ウェストバンド社製 MODEL454647E
		TPTジャパン製 HB16
	ワイヤープルテスター	RHESCA製 PTR-03S
	デジタルマイクロスコプ	キーエンス製 VHX-1000
	万能型ボンドテスター	DAGE製 4000Plus
	密着測定機	QUAD GROUP製 ROMULUS
	レーザー(コンフォーカル)顕微鏡	レーザーテック製 H-1200
	自動精密切断機	三啓製 アイソメット4000
	接触角計	協和界面科学製 DM-501
液 分 析	透過X線装置	DAGE製 XD7600NT
	X線光電子分光装置(XPS)	サーモフィッシャー・サイエンティフィック製 K-Alpha+
	イオンクロマトグラフ	サーモフィッシャー・サイエンティフィック製 ICS-1500
	液体クロマトグラフ	島津製作所製 LC-2010AHT
	分光光度計	日立ハイテクサイエンス製 U-2910
	キャピラリー電気泳動	Agilent製 G7100A
	ICP発光分光分析装置	日立ハイテクサイエンス製 PS3520DD
	自動滴定装置	東亜DKK製 AUT701
	pHメーター	東亜DKK製 HM-30R
	表面張力計	協和界面科学製 CBVP-A3
	パーティクルカウンター	SYSMEX製 APSS-200
	電気化学測定装置	北斗電工製 HZ5000



ICP 発光分光分析装置



万能型ボンドテスター



透過型 X 線装置



高性能集束イオンビーム装置 (FIB)



電界放射型走査電子顕微鏡
(FE-SEM+EDX)

緊急事態対応訓練

当社はステークホルダーの皆様に危険やご迷惑をお掛けしないように各種の管理活動を展開しておりますが、万一の緊急事態に備えて緩和処置及び是正処置を速やかに行うために定期的な訓練を行っております。



重油漏洩事故対応訓練



有毒ガス発生時対応訓練



薬品漏えい訓練



防火訓練

2019 年度 経営・品質・環境方針

『“きれいイノベーション” への挑戦で、顧客満足の上昇！』
～そして、「きれい」と共に、「人」に優しく、「人」を大切に～
「経営・品質・環境目標」

☆プロジェクト活動による目標値の達成

- ☆『きれい』品質でクレーム、ヒューマンエラーの削減
- ☆『きれい』環境でムダな原材料・エネルギー資源の削減、
ムダ・ムラのない作業の効率化
- ☆『人に優しく、人を大切に』を具体化し、具現化する

当社は電子部品等の電解・無電解金属表面処理業務、電子部品の印刷及び検査業務、並びに各種機器・装置の設計・製作及び部品加工業務活動において、環境マネジメントシステムを構築し、当社の環境側面に関係して適用される法的要求事項及び当社が同意するその他の要求事項を順守し、業務に関するリスクを具体的にし、環境負荷低減目標を具現化するために技術的・経済的に可能な範囲で継続的な環境改善を推進し、環境に配慮した活動を推進して汚染の予防と危機管理・安全管理に努め、結果として生物多様性保全に向けた取組みを行います。

環境への取組み

- ①原材料使用量の削減(少金化、少 Ni 化等)
 - ②エネルギー資源消費量の削減又は維持(電気、重油、都市ガス)
 - ③廃棄物排出量の削減又は維持
 - ④創意工夫による作業の効率化
 - ⑤掃除の徹底による全てのムダ削減
(結晶物除去、接点磨き、切削屑清掃、ごみ・ケバ対策、設備職場保守保全)
- (1) 法規制やRoHS指令等の順守及び顧客からの有害物質不使用要求や閾値内管理等への取り組みで化学物質の適正管理を行います。
- (2) 環境に与える負荷が最小限となるよう業務に関するリスクを具体的にし、環境負荷低減目標を具現化するために危機管理・安全面項目の予防処置および対応方法を定めて実施し、必要な場合は訓練を実施します。
- (3) 環境改善を実施し維持する為の環境教育を各サイトで全従業員に実施し、本方針の理解と環境に関する意識向上を推進します。
- (4) 地域周辺への環境保全に配慮し、地域から信頼される事業活動を行ないます。

この方針は、社外への要請があれば必要に応じて公表します。

2018 年 12 月 12 日

原 房 利



yamato は環境
配慮の活動を
展開しています

yamato
大和電機工業株式会社

発行 / 2019 年 6 月 25 日
発行部門 / 管理企画本部 品質保証チーム